

大杉

尾呂志学園便り 第12号：特集号

平成24年12月17日
TEL 4-1015/1012

第3回 学校運営協議会が開催されました！

12月11日（火）午後7時から、尾呂志学園コミュニティ・ルームで、山田憲哉会長をはじめ16名の委員のみなさんと、宮本教育委員長、田岡教育長にご出席いただき、平成24年度第3回目の「尾呂志学園学校運営協議会」が開催されました。

今回は、保護者や地域のみなさま方とともに取り組んできた「運動会や文化祭などの教育活動」や、「コーディネーター部会からの意見等をもとに、新しく地域の方にご協力いただいた取組（干し柿作り：講師 小芝陽一さん、しめ縄づくり：講師 山崎豊さん、木材加工の指導：講師 山下栄一郎さん）」等を報告しました。これらの活動を地域の“文化”として根付かせていくために、今後ともみなさまのご理解とご協力をお願いします。

また、授業力向上に向けた教員研修の取組として、「11月2日：子どもたちの主体的な『学び合い』を育むための研修を深めた授業研究会【講師として、國學院大学 齋藤智哉 准教授を招聘】」や「11月16日：複式授業の先進的な研究校である岐阜県揖斐川町坂内小中学校への視察研修」の概要も報告しました。

本号では、今回の協議会でどのような議論がなされたのかをご紹介しますので、ぜひご一読いただき、尾呂志学園学校運営協議会の活動に対するご意見やご要望をお寄せください。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 議 事 録 よ り ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

○ 御浜町教育長挨拶

- ・ 県教委から「開かれた学校づくりサポーター」として、宮本教育委員長と当学校運営協議会メンバーの芝崎裕也さんに委嘱依頼があった。県下のコミュニティスクールの活動を推進するために、今後各市町で実施する研修会等で力添えをいただきたい。
- ・ 先般の全国学力・学習状況調査の結果を見ると、当校は応用力を問われるB問題の結果が良好である。本年度も2回の外部講師を招聘しての研修会や、先進校への視察研修の実施等、授業改善の工夫に向けて研修を積み重ねている努力に感謝する。

お 知 ら せ

- ① 12月9日（日）尾呂志学園で開催された尾呂志の歳時記「恋しよおろし」発表会の様子が、12月28日（金）午後10時15分から三重テレビ「県政チャンネル～輝け！三重人（みえびと）～」の中で放送される予定です。
- ② 東紀州ホットネット「くまどこ」のホームページにも尾呂志の歳時記「恋しよおろし」発表会の様子が詳しく紹介されています。

○ 学校運営協議会長挨拶

- ・ 先日行われた尾呂志文化祭には、多数の地域の方々が参加していただいた。展示物や舞台発表も大変好評であり、多くの皆さん方から喜びの声を聞かせてもらった。
- ・ 文化祭だけでなく、干し柿づくりやしめ縄づくり等、子どもたちと地域の方々が交流を持つ機会を新たに設けてもらっている。このような機会が子どもたちの良い経験になっている。
- ・ 最近この周辺地域で不審者情報が多く、心配している保護者も多い。安心・安全な地域づくりについても協議会として関わっていきたい。

○ 学校長挨拶

- ・ 本日は、これまでの学校教育活動の中間報告をさせていただく。先ほど会長の挨拶にあった干し柿づくりやしめ縄づくり等の活動や、運動会における育成会の新種目の取組など、コーディネーター部会の意見・提案から実現に向けて動き出したものであり、学校と地域が連携した教育活動を実施できていることに感謝している。
- ・ 児童生徒数が減少する中、このような取組が「地域の文化として根付いていくこと」が今後更に重要になってくると思われる。ご支援をお願いしたい。

○ 報告及び協議

（1）主な教育活動について（中間報告）

【学校：教頭】

- ① 運動会、文化祭等、地域とともに取り組んできた教育活動
- ② 地域の方々に協力いただいた新しい取組
- ③ 授業力向上に向けた教員研修の取組
（①～③は、プレゼンテーションで報告）

- 本年度の教育活動で、特に地域の方々の協力を中心に紹介
- 尾呂志運動会、尾呂志文化祭、本年度の新たな取組を紹介
- アンケート結果や地域の方々の声をもとに改善した行事等の内容を紹介
- 今後これらの活動を地域の文化として根付かせていくために協力いただきたい。



【学校：教員より補足】（裏面に続く…）

- ・全国学力・学習状況調査に関連して、6年生の算数の結果を紹介。基礎基本の力を試すA問題の結果は全国レベルを若干下回るが、応用力を試すB問題の結果は抜群に良い。「君たちは、算数が苦手な全国の子どもたちの希望の星だ」と子どもに話をしている。
- ・運動会は、心の成長が集約的に現れる。子どもたちは高学年を中心に準備や片付けに自ら仕事をさがして取り組んでいた。ソーランのアレンジ部分も、子どもたちで考えることができた。
- ・NHK放送体験クラブに参加した。来年2月放送予定。
- ・文化祭では、声が小さかったという意見もあったが、3年生を中心に積極的に劇作りに取り組む姿があった。

(2) 今後の活動について

【学校：校長・教頭】

①平成25年度の児童・生徒数と学校規模について報告

○小学校1年生もしくは2年生に、あと1人転入があれば、小学校は最大5学級となり、教諭の定数も5名となる。

②視察研修について…視察研修の候補校（案）

○候補校として、長野県阿智村立阿智第三小学校の紹介

○予算から逆算して、車1台で6名程度となる予定

○参加希望があれば、会長まで連絡をしてください。

【教育委員長】

- ・阿智第三小学校には、以前視察に行ったことがある。尾呂志学園立ち上げの頃で尾呂志学園の方向性を確認できた学校だった。（浪合小学校にも視察に行った）

【会長】

- ・視察先や最終的な参加者の決定については、会長に一任願いたい。

⇒承認を受ける



(3) その他（情報交換）

【学校：校長】

- ・視察校として本年度視察研修に出かけた坂内小中学校の公民館を中心とした教育活動について紹介

【委員】

- ・坂内地区は、平成の大合併で揖斐川町になった経緯があり、「我が村を守ろう」という意識が強い地域だと思う。坂内村当時の公民館活動が強く残っているのではないか。

【教育委員長】

- ・この視察は、地域の方にできるだけ多く参加してもらいたい。

【浦中委員】

- ・阿智第三小学校の紹介から、尾呂志地区でも学校の敷居を低くして、地域の方々が来やすい学校をねらいとしていくことが今後重要だと感じた。

○ その他

【委員】

- ・先日、尾呂志歳時記「恋しよ おろし」を発刊することができた。米作りなどで尾呂志学園の活動が地域おこしに繋がっていることに感謝している。
- ・ウォーキングマップも完成した。さぎりの里に置いてもらっている。
- ・「恋しよ おろし」発刊イベントのように、文化祭でも農具・民具の展示や昔の遊び体験なども催すことができると思う。大人も集える催しを今後考えていきたい。

【委員】

- ・尾呂志活性化協議会の取組の様子が、12月28日（金）午後10時15分から三重テレビ「輝け！三重人（みえびと）」の中で放送される予定。
- ・東紀州ホットネット「くまどこ」のホームページにも尾呂志の歳時記「恋しよ おろし」発表会が開催されたことが詳しく紹介されている。

【教育委員長】

- ・教育長の挨拶にもあったとおり、芝崎裕也さんと私に県の「開かれた学校づくりサポーター」として委嘱依頼があった。（県で7名、そのうち東紀州から2名）
- ・今まで尾呂志学園の取組をあまり情報発信できていなかった思いもあり、今後尾呂志学園や学校運営協議会の取組を積極的に県下に発信していきたいのでよろしく願いたい。

【委員：芝崎サポーター】

- ・サポーターとしての情報発信のために、学校にあるデータをデータベースとして利用させてもらいたい。

【学校：校長】

- ・学校の取組は写真を中心に保存してあるので、有効に活用いただきたい。

【学校：校長】

- ・先日大垣市で杉の木の枝が頭上に落ち6歳の児童が亡くなるという事故があった。グラウンドの杉が危険な状態であるため、伐採を検討している。地域の思いのこもった杉でもあるので、区長会長を通じて各区長にも意見を聞いている。

【委員：浦中区長】

- ・各区長ともに、子どもの安全が第一と考えてもらっている。
- ・グラウンドの杉も心配だが、大杉もかなり心配だ。関係機関への働きかけを考えていかなくてはいけない。